

特集 ～風しんの抗体検査と予防接種～
 風しんから、あなた自身と周りの人を守るために

問 さざんか会館中央保健センター
 0857-20-3199
 0857-20-3199



妊娠初期の女性が風しんに感染すると、
 赤ちゃんに障がいが出る恐れがあります。
 妊娠を考えている人はもちろん、周囲の
 みなさんも感染を予防することが大切です。

流行を繰り返す風しん

風しんは、患者のせきや会話で飛び散るしぶきにウイルスが含まれ、症状（発熱・細小の赤い発しんなど）が出る1週間ほど前から人に感染させる危険があります。大人は子どもより重症化する恐れがあるため、注意が必要です。昨年夏の頃から、特に関東地方で風しん患者が増加しており、患者の中心は、子どもの頃に予防接種の対象ではなかった人、予防接種の対象だったが受けていなかった人で、抗体がないと考えられる現在30～50歳代の男性です。

成人男性の風しん抗体検査・予防接種を開始します

～風しん第5期定期予防接種事業～
 これまで風しん予防接種の制度がなかった年代の男性を対象に、風しんの抗体検査と予防接種を行

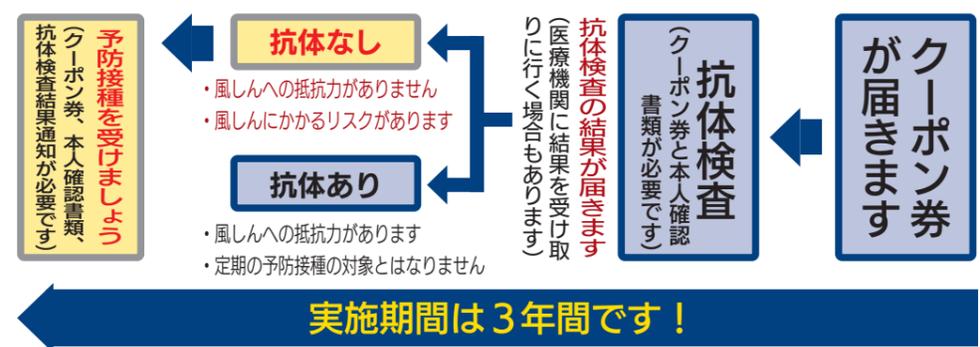
【対象者】
 本市に住民票がある人で昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性
 ◆本年度は、昭和47年4月2日から昭和54年4月1日までに生まれた人に、クーポン券でご案内します。その他の対象者へは、次年度以降に順次送付します。



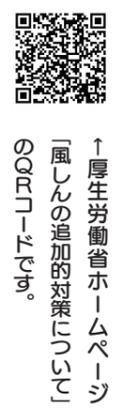
【実施期間】
 令和4年3月31日まで

【申込方法】
 抗体検査・予防接種は、実施医療機関へ予約してください。なお、クーポン券がある人は、費用は無料となりますので事前に申出をお願いします。
 ◆実施医療機関については、厚生労働省ホームページの「風しんの追加的対策について」に掲載されています。実施医療機関で

～抗体検査・予防接種までの流れ～



あれば、鳥取市外の医療機関でも抗体検査や予防接種を受けることができます。
 妊婦さんや生まれてくる赤ちゃんを風しんから守るために！
 ～風しん予防接種費用助成事業～



- ③ 妊娠している女性（鳥取県内在住者）の配偶者
- ④ 妊娠している女性の同居者（※2）
- ※1 HI法による検査結果が16倍以下またはEIA法による検査結果が8・0未満もしくは国際単位30IU/ml未満の人
- ※2 接種日において同一住所に居住する人

【助成内容】

麻しん風しん混合ワクチンまたは風しんワクチンの接種費用のうち8000円を上限に助成
 【助成対象となる接種期間】
 平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

【申請受付期間】
 令和2年4月6日まで

【助成の流れ】

① 抗体価が低いことが要件となっている人は、まず保健所や医療機関で風しん抗体検査を受けてください。
 ② 医療機関でワクチンを接種し、接種費用を支払って領収書を受け取ってください。

③ 接種後に、中央保健センターへ申請します。申請の際は、領収書原本、印鑑、振込先口座が分

かるもの、対象者の区分に応じて風しん抗体検査の結果および母子手帳などの妊娠中であることが分かる書類をお持ちのうえ、窓口へお越しください。

妊娠前の女性や同居の人などは抗体検査を受けましょう！

～風しん抗体検査事業～

【対象者】
 これまでに検査を受けて十分な抗体があった人を除き、鳥取県内在住で次の①から⑤のいずれかに当てはまる人



① 妊娠を希望する女性
 ② 妊娠を希望する女性の配偶者、同居者

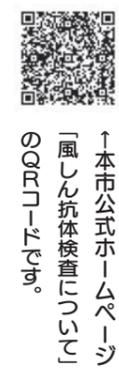
③ 風しんの抗体価が低い妊婦の配偶者、同居者
 ④ 昭和54年4月2日から昭和62年10月1日生まれた男性
 ⑤ 昭和37年4月1日以前生まれで、当該年度3月31日時点で60歳未満の男性

※昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性は、風しん第5期定期予防接種事業としてクーポン券の対象と

【保健所での検査日】
 毎週月曜（祝日の場合は翌日）午後1時30分～3時30分
 予約制ですので、鳥取市保健所健康支援課（☎0857・22・5694）へご連絡ください。

【その他】

市保健所他に、検査をしている県内の医療機関でも無料で検査を行っています。実施医療機関は本市公式ホームページでご確認ください。



風しんに感染しない、感染させないように抗体検査と予防接種を受けましょう！

